



西本さん



横田さん

ミハラシニア編集室ママライター(三原歴7年と16年)が行く

未来へつなぐ大切な祭

コロナ禍で祭りの中止が相次ぎますが、祭りに込められた意義や思いは途切れることなく受け継いでいきたい! 市民ママライターが、市内の祭り関係者を直撃取材していきます。

第5回

西小学校とんどまつり

開催時期・1月中旬の日曜日

特徴・「とんど」とは、正月にお迎えした神様を正月飾りとともに火でお送りし、豊作や無病息災を願う行事。



コロナ禍で行事が減ってしまった子どもたちのためにも、今後も工夫して開催します。

西小学校区町内会連合会会長
ほこさきさくじ
鏘崎作二さん

「三原市公式note」
で記事掲載中!



校庭の中央に立てられた高さ約10メートルの竹の塔。上部に輪が二つあるのが西小学校のとんどの形です。前日に、クレーンを使って形を組み、各家庭のお正月飾りを付けて完成させます。祭りの当日は、16の町内会と自治会から600人以上が集まります。とんどの点火・消火は消防団が担い、灰は地域の梅林の肥料にするそうです。始めから終わりまで地域一体となった行事です。

地域一体となった大規模なイベント

子どもたちの思い出に残ることをしたい

かつては各地区で行われていたとんど。一度は途絶えてしまいましたが、子どもたちの思い出作りのために「とんど、36年前に当時の小学校PTA役員が提案し、西小学校の校庭で復活させました。各町内会や老人クラブ、地域の団体、小中学校が協力して、一つのとんどを作り上げます。当日は小学生がバザーに参加し、祭りを盛り上げます。



Hella! MIHARA

三原市初!ハワイ出身の国際交流員コラム

Vol.5

国際交流員 横川あいさん

異文化を知ってもらうため、幼稚園を訪問!

南幼稚園(宮沖二丁目)を訪問し、ハワイの文化を教える講座を行いました。ハワイ語でのあいさつやハワイに関するクイズ大会をしたり、色紙を使ったハワイの花輪「Lei」を作ったりしました。当日は参観日だったので、保護者の皆さんにも参加していただき、子どもたちは作ったレイを友達やお母さんにプレゼントして楽しんでくれました。

国際交流員は、学校や幼稚園などを訪問し、子どもたちの異文化への理解を深める活動を行っています。海外の文化を楽しく学んでもらうことで、外国に興味を持ってもらえるきっかけになればうれしいです。



子どもたちと楽しく交流!

●外国人相談窓口(市役所本庁4階)
問経営企画課(TEL)0848-67-6270 (FAX)0848-64-7101)

第5回

市長 × 神明市



三原のお祭りも、七転び八起き!

三原に春を告げる風物詩、神明市が、新型コロナウイルスの影響で2年連続の中止となりました。私にとって神明市は、子どものころからの身近なお祭り、板状のお菓子をくり抜いて遊ぶ「型抜き」をして遊んだことなど、良い思い出です。

また、新型コロナウイルスが国内で感染拡大する直前の令和2年には、神明市協賛会のご理解のもと、仲間たちとブースを出展させていただきました。

当時取り組んでいた教育活動の一環で、子どもたちが創作したオリジナルの三原だるまの写真展示を行いました。子どものころに純粋に楽しんでいった神明市に、大人になって出展者として、運営に関わることができたことを、とてもうれしく、ありがたく感じたものです。

神明市に限らず、中止が続く三原のお祭りを、みんなで楽しくつくりあげていける日を心待ちにしています。三原の祭りは七転び八起き。あたたかい春が訪れますように!